

ニ其ノ差シ其性質ノ異ニ在リ候ニ在リ存書ニ  
其原由ニ云々ハ蓋シテハ之レノ如ク存書ニ依リ  
スルニ終極ノ法(在リテハ之レノ如ク)ハ名稱ニ付シテ  
タリハ相成ラズ候ニ在リ少シク不明ノ點ニ在リ有  
之共ニ付テハ存書ニ在リテハ之レノ如ク存書ニ  
類ニ在リテハ及出ルニ在リ  
明治廿九年七月下  
三宅嘉三 成川尚義

丙午左 存書長 十箇元正 戻

内務省 甲第 六三三 刑 九月十日 文書課長 行施 九月十日 小

明治廿九年 七月廿七日 主査 敬務課長

警保局長

大臣

次官

縣沼局長

参事官

漂流物処分件

宮城縣

別紙伺出ノ要点ハ海嘯被害地方ノ其ノ如ク  
識認シ得ラレニモ拘テハ漂流物取扱規則ニ依リ  
テ処分スルハ被害人民ノ損失スルノミナラス  
処分上

其当ヲ得サルモノ、如シ故ニ便宜特別ノ取扱ト爲  
シ物主ノ本判明ナルモノハ公賣処分ノ上其収得金  
ヲ救恤費ニ加ヘ被害地人民ニ配布シタシト云フニ  
在リ孰チ考ルスルニ事情ニ於テハ伺書ノ主意必シ  
モ無理ナクトモ認メラレテ復得共知シ共漂流  
物取扱規則ナルモノハ一ツノ法律布告ニテ本省ニ  
於テ左右ニ得ヘキモノニモ無之内閣ニ在テモ亦容  
易リ特別処分ノ裁判ヲ爲シ能ハサルモノト被認  
メ殊ニ現今規則第廿七条ノ明文ニヨリハ暴風雨  
等ニシテ流失ノ枝木ヲ取揚クルトキノ規定アリ則  
チ今回ニ陸地地方被害ノ漂着物等ニ在テハ本  
規定ニ依リ処分スルニ當ルニ考テ科及テ条伺出  
ノ事情ハ不得已ニトモ雖モ既ニ本規則アリ以上ハ

如何トモスル能ハカハ義ト見込テ就テハ甲号案ノ  
通牒指令ノ上乙号案ノ通牒指令局長ヨリ御  
通牒相成可熟忒相伺也

甲号案  
指令番号

宮城縣  
本年七月十七日登第三三三号漂流物取扱方  
伺件難厩届  
年月日

内務大臣

乙号案

漂流物取扱方ノ義ニ付御伺出相成テ在テハ  
情ニ於テハ無難儀次第ニ得共今日ニ於テハ  
漂流物取扱規則ニ依リ取扱テ外詮議ノ

途無之有難聞廟昔今日所指令相成美儀  
三有之矣奈右様所承知相成度此改爲念  
及通譯責也

年月日

警保局長

宮城縣知事宛

文三三一

漂流物取扱方ノ義付伺

今回縣下本吉桃生牡鹿ノ三郡海嘯被害ノ  
夕メ屋敷家貝等ノ流失ヒモノ甚クテ數ノ可ク  
又從テ被害地ハ勿論其他ノ海岸各地ハ漂着シ  
人民ノ採拾シタルモノ尠カラサルニ依リ精々被害  
者ノ為ノ便宜還付ノ措置ヲ為シタリト云ヒ多ク  
ハ物主ノ不明ナルノミナラズ錯雜混同到底判別シ  
得ヘカラサルモノアリ又海岸地人民ニ於テモ被害  
者ニ對シ救助スルノ心得ニテ其汚ラ厭ハス被害地ノ  
漂流物ト認ルモノハ取揚ルモノ凡ク以テ其數モ  
亦夥多ク増加スルノ狀況ニ有之矣然ルニ並普通  
一般ノ漂流物ト同シク成規ノ取扱ヲ為スニ於テハ

則子漂流物取扱規則第三十一条ニ依り處分  
セラル得ル然ルハ其結果取揚主ニ給付スル  
ト官没スルトノ二途ニ歸スルノニ現ニ被害地方ノ  
材具カクルリヲ識認シ得ルニモ拘ラズ單ニ物  
件ノ錯雜混同其主ノ不明ナルカ爲メ同条第二  
項ノ處分ヲ爲スヘキモノトセハ推リ被害地方人  
民ノ損失ナルノミナラズ處分上其當ヲ得ルモノ  
ノ如シ故ニ今回ノ如キ非常豪災ノ場合ニ在テ  
ハ徒ニ規則ニ拘泥スルナリ特ニ便宜ノ取扱ヲ爲  
シ可成の被害人民ノ爲メ便利ヲ興ルハ当然ノ  
措置ト思考セラル假依テ其被被害地ノ漂  
流物ニ限リ成規ノ手續ヲ履行セス地方廳ニ  
於テ便宜之レヲ取扱シ又其主ノ不明ニ屬ス

凡物件ハ公賣處分ヲ爲シ其收得金ノ如キハ  
救恤費ニ加ハ齎シテ被害地人民ニ配布スル  
等便宜處分致度候條其段相伺也

明治廿九年七月十七日

宮城縣知事

内務大臣宛